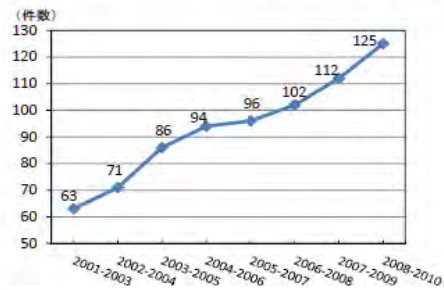


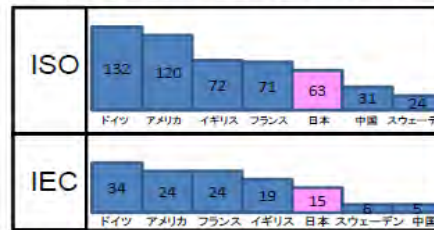
● 国際標準化に係る各国動向と日本の現状

- 従来から積極的な活動を進める欧州、米国に加え、韓国、中国の企業がグローバル市場でシェアを急速に拡大するとともに、標準化活動への取組みを急速に強化している。
- ISO、IECにおける日本の国際幹事引受数は国別内訳で5位となっている（図 1-14）。ITU-Tにおける日本の議長・副議長等の数は米国、中国に次ぐ3位、ITU-Rにおける議長・副議長等の数は5位グループである（図 1-15）。

日本からの国際標準提案件数推移 (ISO・IEC合計)



国際幹事引受数の国別内訳 (2010年末)



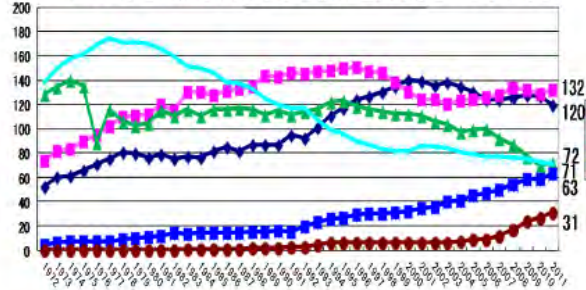
ISO:国際標準化機構 (International Organization for Standardization)
IEC:国際電気標準会議 (International Electrotechnical Commission)

IECへの国際標準提案件数

国名	国際標準提案件数
韓国	20 → 25
中国	11 → 23
アメリカ	8 → 18
日本	22 → 16

(2008.10 - 2009.9) → (2009.10 - 2010.9)
(IEC事務局長講演資料より)

ISO主要国(米、独、英、仏)と日本、中国の幹事国引受数の推移



IEC主要国(米、独、英、仏)と日本、中国の幹事国引受数の推移

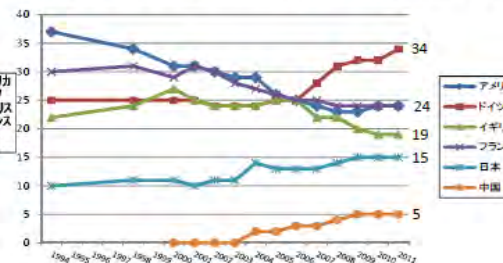
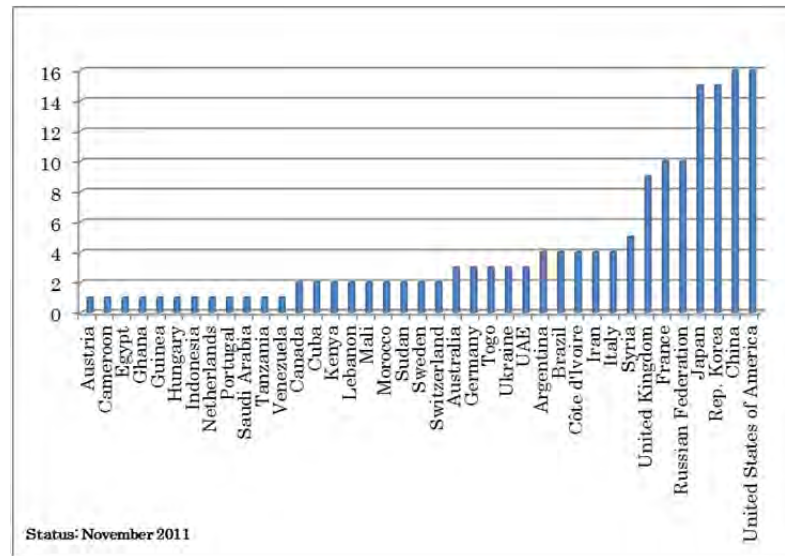


図 1-14 : 日本の ISO/IEC への寄与状況

(出典) 総務省 情報通信審議会 情報通信政策部会 情報通信分野における標準化政策検討委員会 (第5回)

“経済産業省における国際標準化への取組について” 2011年10月 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000134879.pdf)

ITU-T における SG、WP、地域グループの議長・副議長等の数（国別）



ITU-R における SG 議長・副議長の数（国別）

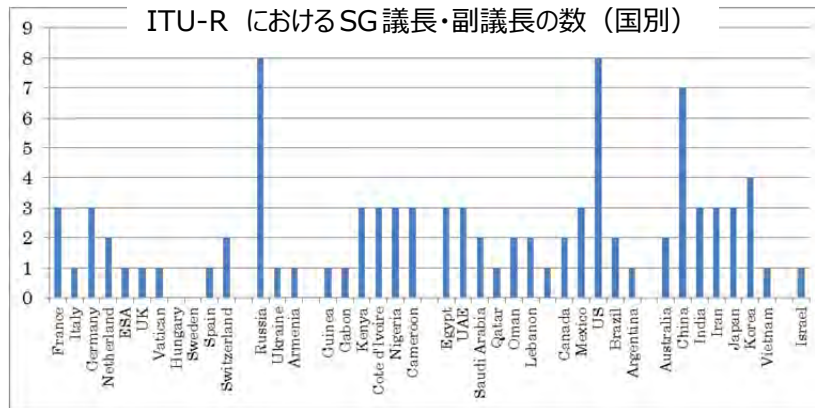


図 1-15 : ITU-T および ITU-R における SG, WP, 地域グループ議長・副議長等の数

(出典) 総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課

諸外国の ICT 研究開発戦略

1.2.1. 米国

- NSTC（国家科学技術委員会）が、NITRD 小委員会（Networking and Information Technology Research and Development）の調整を踏まえ、NITRD プログラムを策定している。NITRD プログラムは省庁横断的に情報通信分野の研究開発を推進するプログラム。実質的には各省庁の情報通信分野の研究を取りまとめたものである。
- 分野は、8 つのプログラムエリア PCA(Program Component Areas)と、各機関が連携すべき優先課題を扱う 4 つのグループ SSG(Senior Steering Group) とから構成される（表 1-1）。
- 予算額は、2013 年度要求予算は 38.079 億ドルであり、前年度比 1.8% 増となっている。特に、セキュリティと情報保証（CSIA）の増加率が最も高く、2012 年から 13% 増、2011 年からは 50% 増、となっている。

表 1-1 : NITRD におけるプログラムエリア PCA とグループ

PCA (Program Component Areas)	SSG (Senior Steering Group)
<ul style="list-style-type: none"> ● ハイエンドコンピュータのインフラとアプリケーション (HEC&IA) ● ハイエンドコンピュータの研究開発 (HEC R&D) ● 社会・経済・雇用との連携および人材開発 (SEW) ● 人間とコンピュータのインタラクションと情報管理 (HCI&IM) ● 大規模ネットワーク (LSN) ● 高信頼なソフトウェアとシステム (HCSS) ● ソフトウェアの設計と生産性 (SDP) ● セキュリティと情報保証 (CSIA) 	<ul style="list-style-type: none"> ● サイバーセキュリティと情報保証 R&D SSG (2008 年設立) ● ワイヤレススペクトラル R&D SSG (2010 年設立) ● ヘルス情報技術 R&D SSG (2010 年設立) ● ビッグデータ R&D SSG (2011 年設立)

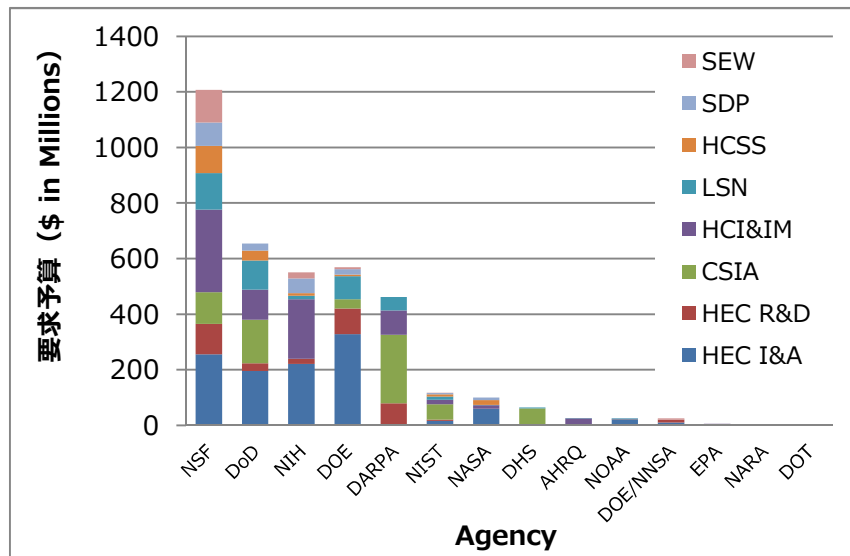


図 1-16 : 機関毎の要求予算額と内訳 (2013)

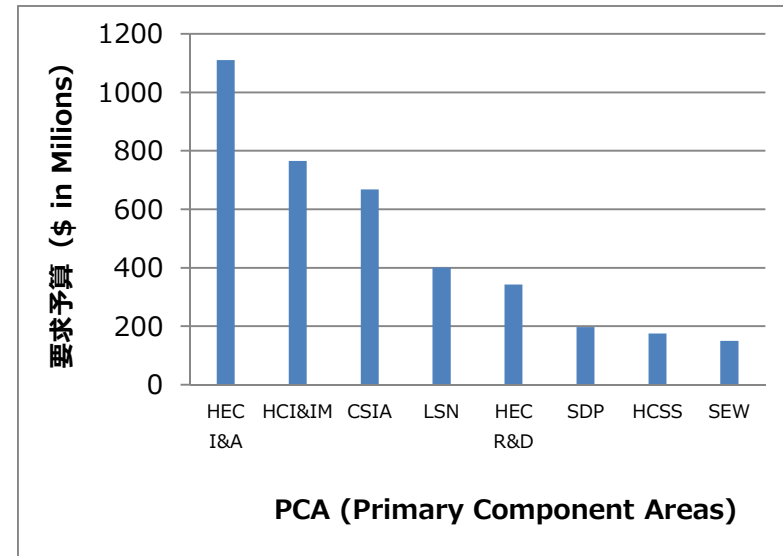


図 1-17 : プログラムエリア (PCA) 毎の要求予算額 (2013)

(出典) NITRD, "Supplement to the President's Budget for Fiscal Year 2013," February 15, 2012 を元に内閣府で作成
<http://www.nitrd.gov/PUBS%5C2013supplement%5CFY13NITRDSupplement.pdf>

プログラムエリア (PCA) 毎の要求予算額と前年比 (NSF)				
PCA	FY2012 Estimation	FY2013 Request	増加	増加率(%)
HEC I&A	250	255.6	5.6	2.2
HEC R&D	103	109.9	6.9	6.7
CSIA	98.5	114.1	15.6	15.8
HCI &IM	292	297.2	5.2	1.8
LSN	121.8	131.4	9.6	7.9
HCSS	84.7	97.6	12.9	15.2
SDP	78.3	83.7	5.4	6.9
SEW	110.2	117.7	7.5	6.8
Total	1138.5	1207.2	68.7	6

(Dollars in Millions)

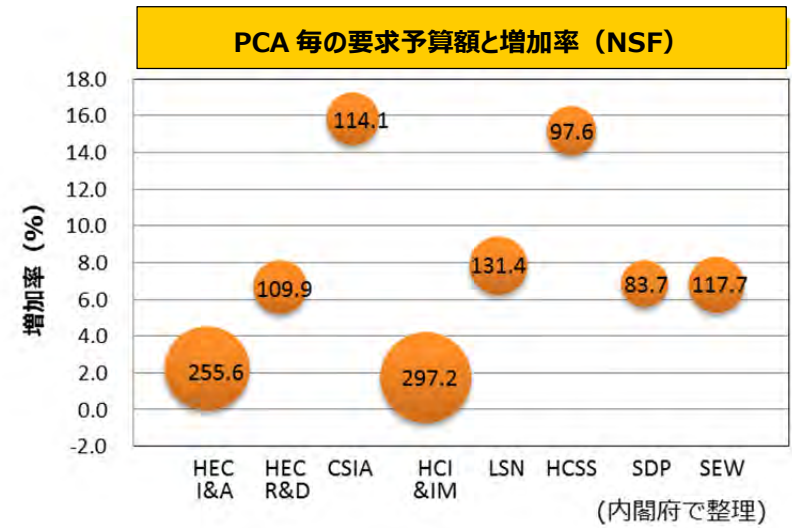


図 1-18 : FY2013 年度 NSF 予算要求 詳細

(出典) NSF-Wide Investments, Networking and Information Technology R&D,
http://www.nsf.gov/about/budget/fy2012/pdf/36_fy2012.pdf

1.2.2. 欧州

- 情報通信分野の研究開発は、第7次フレームワークプログラム（FP7）で推進している。（2007-2013の7年間）
- 予算内訳は、共同研究支援 COOPERATION 324.1 億€の内、情報通信技術 ICT は予算の約 30%程度である。
- 分野は、4 つの技術課題（全予算の内 56%）と社会経済上の重点4分野（全予算の内 33%）のマトリクス状に分割して推進している（図 1-19）。

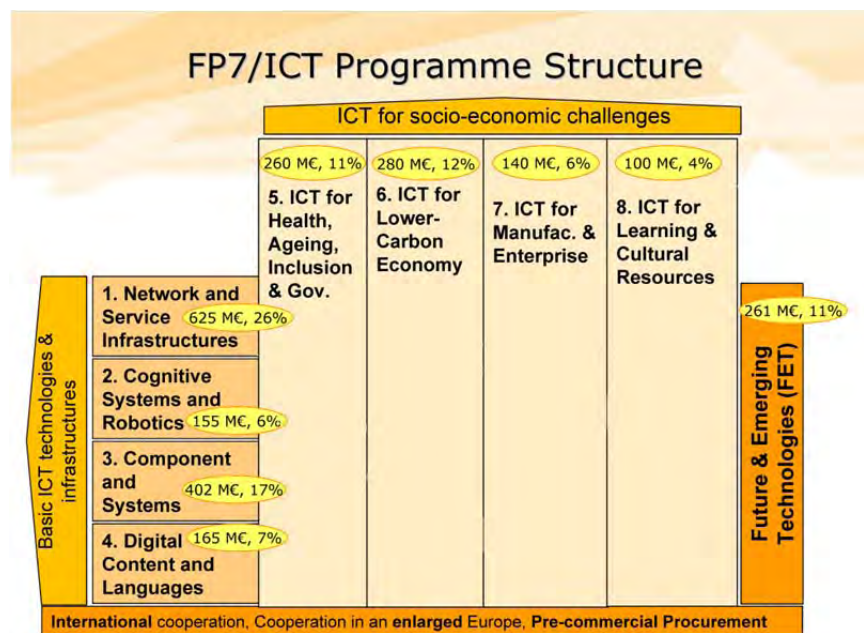


図 1-19 : FP7 のプログラム構成

(出典) Bernard Barani et al., "ICT and EU Innovation Support," Mobile World Congress, February 7, 2011